『輪を広げ楽しく より良い会に』

Vol.35

東京旭川会 会報 なりかまど

第35号：平成27年（2015）3月25日発行
発　行：東京旭川会　〒234-0053
神奈川県横浜市港南区日野中央
2丁目19-17（西谷内力世）
TEL／FAX：045-843-7673
編　集：東京旭川会広報部会（朝比奈康博）

＊【予告】本年度（平成27年）第39回の総会・懇親会は、10月24日（土）午後6時からです。それに先立ち懇談会は、午後4時から予定しています。

第38回東京旭川会総会・懇親会のご報告

2014年10月25日（土）「第38回東京旭川会　総会・懇親会・懇談会」がハイアット・リージェンシー東京で開催されました。出席者は、来賓を含め150人でした。

▲❶ご来賓の入場とご紹介　❷旭川市副市長・岡田政勝氏　❸旭川市市議会議長・三井幸雄氏　❹旭川商工会議所会頭・新谷龍一郎氏／東京旭川会　❺高橋照美会長　❻西谷内力世副会長兼事務局長　❼横田茂副会長　❽加藤桂子副会長／❾旭川市シンボルキャラクター「あさっぴー」

【懇談会】今年は、午後4時からNHK大河ドラマ「八重の桜」の脚本を書かれた山本むつみ氏の講演会を実施、続いて赤岡昌弘旭川市総合政策部長による「北のプラチナシティ旭川」を目指した取り組みなどについて、更に、佐々木恵一旭川市経済観光部長による「食べマルシェ」などの観光事業についてのプレゼンテーションが行われた。

【総会】午後6時、横田茂副会長の紹介で、高橋照美会長が議長となり、「平成二十五年度事業報告並びに決算報告の件」「会計監査報告」「平成二十六年度事業計画並びに予算案の件」を西谷内力世事務局長の説明で原案どおり可決。第3号議案「会長・監事の選任」では、西谷内事務局長より「会長として高橋照美氏、監事として米陀徳光氏及び安井規雄氏留任」の提案があり、大きな拍手をもって異議なく承認され、総会はつつがなく終了した。

【懇親会】この日、旭川観光大使に任命された朝妻久実氏の司会で出席の来賓の紹介があり、高橋会長の開会の挨拶のあと、岡田政勝旭川市副市長より、今年4月に旭川地域企業誘致サテライトオフィスがオープンしたこと、ソチオリンピックで竹内智香選手がスノーボードパラレル大回転で銀メダルに輝いたこと、今年の「食べマルシェ」は好天にも恵まれて百万人以上の来場者があり大盛況であったこと、来年は旭川でスノーボードのFISワールドカップが行われることなどが紹介された。

続いて三井幸雄旭川市議会議長の発声のもと、旭川市と東京旭川会の益々の発展を祈念して威勢よく「乾杯！」

今年も、出席会員は地域別に分かれ、来賓を加えて9つのテーブルに集まった。会場には、旭川の食材を使った料理のコーナーも設けられて大人気。恒例の壁新聞には、この1年間の東京旭川会の活動や旭川市のトピックスなどを紹介する記事が展示され、「ハレロイ会」の紹介や、鈴木聖史監督による映画「ホコリと幻想」の紹介もあった。

午後7時半、「あさっぴー」が登場！朝妻さんと「あさっぴー」の共演のダンスは盛大な拍手で盛り上がった。

この後、「あさっぴー」は各テーブルを回って順次、記念撮影。「あさっぴー」を囲み、みんな満面に笑みを浮かべてパチリ。

そして、恒例の大抽選会がスタート。旭川物産協会をはじめ、男山、優佳良織工芸館、ササキ工芸、サッポロビール、AIRDO他、多くの企業からの景品の提供があり、会場は大いに湧き上がった。

（詳細は、2～3ページ）

午後8時、新谷龍一郎旭川商工会議所会頭の発声による万歳三唱のあと、加藤副会長のお礼の挨拶をもって閉会となった。

高橋照美 会長からのメッセージ
東京旭川会が目指すもの

西川將人旭川市長が昨秋三選を果たされ、会報「あさひばし」の中で、「各地から幅広い世代の方が集いにぎわう北海道の拠点として、他の自治体との連携を一層図りながら、まちづくりを進めていきます」と述べておられます。この方針に基づいて昨春、「旭川地域企業誘致東京サテライトオフィス」が開設されました。

私も立場は異なりますが、昨秋東京旭川会の会長に再選され、同じような思いで「輪を広げ楽しくより良い会」を目指して会を運営して参りたいと思っています。

東京旭川会もここ数年「広く旭川圏」として活動することを目指して参りました。「ひがしかわ東京会」の横田茂会長は、当会の副会長を、また「東京東神楽会」の安井規雄会長には当会の監事を務めていただいています。そして「東京当麻会」の佐藤幸博理事、高島芳美理事には、当会の幹事に就任していただくことにしました。今後は更に旭川市に隣接している「上川町」「比布町」の東京ふるさと会の皆さんとも接触して輪を広げていきたいと考えています。

昨年は夏に新橋演舞場で、会員の親睦納涼会を行いました。「あさっぴー」も登場して盛り上がりました。また、秋には、丸の内で「旭川ご当地グルメ」も行われ、旭川の食材を使った「蒸し料理」を味わいました。今年も、いろいろな親睦事業を進めて参ります。

第38回 懇親会の様子

あさっぴー登場!!

小・中学校別のグループ分けは、今回で4回目。小学校名、中学校名を書いた大きなネームカードで、お互いに共通の話題が見つかりよかったと、今回もとても好評でした。後半は、自由に交流していただきました。

今年は、旭川市の公式シンボルキャラクターの「あさっぴー」と司会の朝妻アナウンサーがチアリーダー姿で登場。壇上で踊ったり、各グループ席では、会員の皆さんと記念撮影をして大いに盛り上がりました。

▲旭川市が提供の南瓜・じゃがいもを使ったホテルの特別料理に舌鼓。皆さんニコニコ顔で会話も弾みます。

▶協賛企業や旭川市からの旭川物産を中心にした抽選会は大盛り上がり。三井議長も大忙し。

会場・グループ別配置図

今回は来賓テーブルと観光大使の席も作りました。市の幹部、旭川観光大使が会員と交流しました。

青

神楽小、神居小、青雲小、日章小、神楽中、神居中、聖園中。グループリーダーは奥山好美幹事。「あさっぴーと朝妻アナウンサーが来てくれて、みんな大喜びでした。おかげで話も弾みました」

黄

北鎮小、春光小、大有小、大町小、北光小、北星中、六合中、北門中。グループリーダーは大場孝仁幹事。「あさっぴーを間近に見た人はあまりいないので、大きいねと触って喜んでいました」

緑

中央小、日章小、常盤中、明星中。グループリーダーは河原惟臣幹事。「山本むつみさんの講演もよかったですし、あさっぴーと元気のいい新観光大使の朝妻さんと一緒の写真も楽しいですね」

橙

東五条小、正和小、新富小、大有小、明星中。グループリーダーは山崎正之幹事。「明星中・北高出身者が中心の紳士淑女グループです。旭川林檎の美味しさに感激しつつ再会を楽しみました」

新観光大使紹介

浦城いくよさん

明治40年に旭川で生まれた文豪井上靖の書斎と応接間が平成24年、春光町の井上靖記念館に移築されました。長女で井上靖記念文化財団専務理事の浦城いくよさんには井上靖記念館特別相談役としてもご尽力いただいております。

旭川観光大使として初めて出席されて、「とても楽しく、次回もぜひ出席したい」とのこと。東京旭川会にもご入会いただきました。

朝妻久実さん

「山陰中央テレビを経て、現在はフリーアナウンアサーとして東京で活動しています。この度、旭川観光大使になりましたので、いろいろな場面で旭川のPR役として今まで以上に頑張ります。2月9日の旭川冬まつりステージにも初出演します。よろしくお願いいたします」とご挨拶されました。

▲観光大使の大先輩、吉田義勝さん、岩田公雄さん、高橋会長とご挨拶。

来賓

▲来賓・観光大使席。最初にあさっぴーがやってきて、皆さん驚きと興奮の笑顔。岩田公雄さん、浦城いくよさん、講演を終えたばかりの山本むつみさんなどの観光大使も大喜び。皆さんいっきに話が弾んだようです

▲関連記事を拡大し、テーマ別に解説した「壁新聞」も注目。講演の山本むつみさん、ソチ五輪の銀メダリスト・竹内智香選手、旭大星などの記事が話題。

▶旭川観光大使の右から佐藤安弘さん、岡崎友典さん、藤井邦夫さんがご挨拶後に抽選くじ引。

▲「熱く生きろ～」という意味の若手の会「ハレロイ会」が壇上に勢揃い。「若い力」がこれからの東京旭川会を引っ張ります。よろしくお願いいたします。

水

日新小、大成小、朝日小、旭川中、北都中。グループリーダーは小松仁志幹事。「旭川の元シティボーイとシティガールに、今回はあさっぴーと朝妻久実さんが加わり大盛り上がりでした」

ピンク

啓明小、朝日小、東町小、光陽中、東光中、東明中、愛宕中。グループリーダーは山川智幹事。「岡田副市長もこのグループですので、旭川の最新情報なども聞けて皆さん喜んでいました」

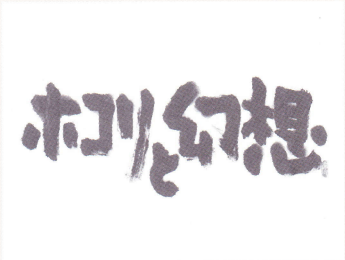
白

東川、東神楽、当麻、東鷹栖、愛別、比布、上川などの旭川市の周辺町の方々。グループリーダーは安井規雄監事。「講演も内容がありよかったですよ。懇親会もにぎやかでいいですね」

赤

江丹別、鷹栖、東鷹栖、雨紛、富良野、及び道内各地、道外ご出身者の方々。グループリーダーは澤田研二幹事。「テーブルの参加者名簿と名札で話のきっかけができ、話の輪がひろがりました」

旭川産の映画が完成！映画監督・鈴木聖史さん



▲映画のタイトル。2014年撮影開始、9月末に無事91分の旭川産の映画が完成。

「今回の映画製作では、東京旭川会の皆さま、そして地元の旭川市、旭川商工会議所をはじめ旭川市民の皆さまには、資金面だけではなく、ロケ地でのご配慮、エキストラ参加など最高のサポート体制をいただきました。ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

現在、本作品は、映画祭のエントリーと、全国での公開の準備を進めております。本年5月頃から北海道を皮切りに、東京をはじめ全国での上映となる予定です。諸々決定次第、改めてご報告させて頂きます」

▲「ご支援ありがとうございました」

▲あさっぴーとAKB48の「会いたかった」を踊り、ポーズ。

鈴木聖史のオフィシャルサイト　http://www.rs-project.net/

講演 脚本家 山本むつみ『ドラマを作る仕事』

《主催者側からのお断り》山本むつみ先生には、約50分にわたりいろいろな事例を挙げ丁寧に、ユーモアも交えてお話しいただきました。ありがとうございました。紙面の都合上、お話しのポイントのみで省略せざるを得ない部分もあります。ご了承いただけましたら幸いです。

▶80名の席が満員に。熱心にメモを取りながら聞く会員も多く見受けられました。

脚本家ってどんな仕事？

脚本家の仕事をひと言で言うと、セリフとト書きで、「ドラマの設計図」を描くことです。大勢の役者さんやスタッフさんたちが、脚本という設計図を元に、力を合わせてドラマという「家」を建てていくわけです。

脚本家の大先輩・ジェームス三木さんは、若い頃、向田邦子さんに「脚本家に向いている人の条件」は、「嘘が上手い」、「胃が丈夫」、「おしゃべりが好き」の三つだと教わったそうです。この三条件を知った時、私は、脚本は自分の天職だと確信しました(笑)。まず、ドラマはお話を創造するものですから、壮大な嘘をつく能力が必要ですよね。それから、徹夜が出来るだけの体力がないと勤まらないので、胃が丈夫でしっかり食べられることも大事です。脚本の打ち合わせは、プロデューサーや演出家と行いますが、こちらは一人で、相手は八人なんてこともざらにあります。多勢に無勢の状況で主戦に打ち勝つためには、おしゃべりの能力も必要です。

ドラマの作られ方は様々で、企画が決まっていて脚本を依頼される場合が多いのですが、時にはゼロから一緒に立ち上げることもあります。NHKの朝ドラ『ゲゲゲの女房』の時は、ドラマの題材を探している最中に、たまたま入った本屋さんで原案本と出会いました。水木しげる先生の奥様が書かれたエッセイ本と「目が合った」感じがして、そこから、企画が決まったんです。ドラマ作りには、時として、そういう不思議ごとが起きますね。

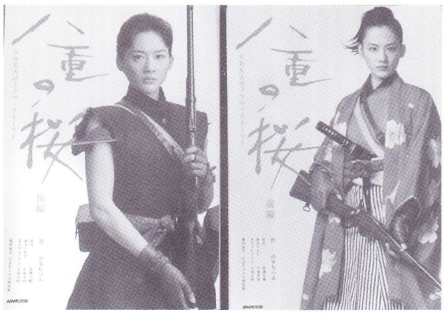
ドラマの影響力

大河ドラマ『八重の桜』は、東日本大震災の後、東北復興のためにドラマに何が出来るか？ということで決まった企画です。ドラマが始まる前は、新島八重さんを知っている人も少なく、本当に大河ドラマに出来るのかと不安な思いもありました。でも、調べるほどに八重さんの人生は面白く、会津の視点から見る幕末の歴史は新鮮でした。歴史の記録は勝った側によって作られてしまうものですが、敗れた側に光を当てると、これまでとは違う幕末・明治が見えて来ました。

広く人に伝えるには、ドラマが一番効果的なんじゃないかと思います。人は心を動かされると、実際に行動を起こします。震災後に、取材で会津を訪れた時は、観光客が九割減という厳しい状況でした。ところが、ドラマが始まると訪れる人が増え、お城近くにある「大河ドラマ館」は、最終的に来場者が62万人を越えたそうです。

▲自分が脚本家になった時のエピソードも笑いを交えてたっぷりお聞かせくださいました。

また、ドラマの第一話に、吉田松陰が「会津の酒は美味いのう」と話すシーンを作ったのですが、実はこれ、会津でお酒を飲んだ時の、私の個人的な感想でした。このセリフを喜んでくださった杜氏さんたちが、張り切ってお酒を造られたそうで、その効果があったのか、新酒の品評会では最多の金賞を獲得されたとか。ドラマの影響力の大きさは怖いところもありますが、美味しいお酒作りの役に立つなら、嬉しいですよね。



▲NHK大河ドラマ・ストーリー『八重の桜』前篇・後編（NHK出版刊）。表紙に、[作　山本むつみ]と記載。

大河ドラマのヒロインの条件

無名に近かった八重さんが大河ドラマの主役になったのには、ちゃんと理由があります。一つには、絶対諦めない人だということ。諦めずに困難を乗り越えていくところにドラマが生まれます。二つ目は、女性の武器が薙刀だった時代に、八重さんだけが鉄砲を撃ったこと。誰もやらないことをやる人だからこそ主役になれるんです。三つ目は、周囲の目を気にせずに、我が道を行くスルースキル。そして、四つ目は、変化を恐れないことです。新しいことにどんどんチャレンジしていく勇気が、自分を変え、世の中を変えていきます。こうしてみると、ドラマの主人公の条件は、自分が「人生の主役」であるために必要なことと同じなんですよね。

震災、津波、原発事故と大きな不幸が続きました。そんな時には、ドラマなんて本当に無力なものです。せめて、これまで歴史の中に埋もれていた東北の人たちに光を当てることで、被災地に一本の花を手向けよう。『八重の桜』には、脚本家やキャスト・スタッフたちの、そんな思いが込められていました。

プロフィール　脚本家　山本むつみ　旭川観光大使

北海道旭川市生まれ。北海道大学教育学部卒業後、編集者をしながら脚本家を目指す。2013年のNHK大河ドラマ「八重の桜」、2010年前期連続テレビ小説「ゲゲゲの女房」をはじめ、NHK金曜時代劇「御宿かわせみ」「慶次郎縁側日記」、土曜ドラマ「トップセールス」「相棒シーズン12」など、時代劇・現代劇を問わず、多様なジャンルで執筆されている。直近の執筆活動では、2014年11月17日22：00からニッポン放送開局60年を記念して制作されたラジオドラマ「オオカミの末裔」の原作・脚本を執筆。またテレビ東京新春ワイド時代劇「大江戸捜査網2015－隠密同心、悪を斬る！」（2015年1月2日放送）の脚本を執筆されている。

懇談会第二部

北彩都事業が完成し、旭川市のさらなる飛躍に向けて、旭川市の二人の部長からテーマごとに画像を使って詳しくご説明いただきました。

「地域活性化モデルケースについて」

旭川市
総合政策部長
赤岡昌弘

9月に「まち・ひと・しごと創生本部」が設立しましたが、それに先立ち、内閣官房では新たな活力ある地域づくりと地域産業の成長のためのモデルケース「地域活性化モデルケース」を募集しました。公募期間に全国から135件の提案があり、旭川市を含む33件が選定されました。

旭川市は、北・北海道の拠点都市として、新鮮で豊かな食材や恵まれた自然、そして医療福祉の集積という地域の強みを生かし、『健康』と『食』の二つを柱とした「北のプラチナシティー〝あさひかわ〟を目指して」を提案しました。高齢者が生きがいを持って暮らせるイメージで、シルバーの上を行く『プラチナ』と表現しました。

旭川市の提案は、『健康』に関する五つの取り組みです。「まちなかプラチナベースの整備」「積雪寒冷地型スマートハウスの整備」「アクティブ買物公園の整備」「積雪寒冷地・高齢者対応ユニバーサル製品の開発」「ストレスケアツーリズムの推進」で、そのうちメインの「まちなかプラチナベース」についてお話しいただきました。

『食』に関する取り組みは三つです。「（仮称）SORAの駅の整備」「北の発酵FOODの開発」「研究開発機能を備えた給食センターの整備」のうち取組の中心になっている「（仮称）SORAの駅の整備」についてお話しいただきました。

「旭川市における観光と企業誘致の取り組みについて」

旭川市
経済観光部長
佐々木恵一

Ⅰ・観光について

旭川市は、北海道のほぼ中央部という地の利を生かしながら、経済波及の大きい「観光」を地域経済の重要な柱の一つとして位置付け、関連施策を推進。

【その特長とポイント】

1・観光入込客数：五百数十万人程度で推移。宿泊者をいかに増やしていくかが今後も引き続きの課題。

2・外国人観光客の誘致：外国人観光客から求められている「雪・花・カニ・温泉」を近隣との周遊観光によってすべて楽しむことができる。東アジアや東南アジアで精力的な観光プロモーションの展開によって、台湾、中国などから週に12便の国際定期路線が運航、外国人観光客の宿泊数が安定的に伸び、過去最高を更新する勢い。

3・国内と海外の観光客の平均宿泊数：夏、冬、年間と、すべての期間で増加基調となっており、旭川市の観光が滞在型へ転換しつつある傾向。

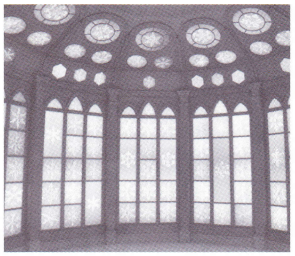
4・観光スポットの紹介：①旭山動物園：「キリン舎・かば館」がオープン。6年ぶりに入園者が増加。②「雪の美術館」は、ディズニーのアニメ「アナと雪の女王」に出てくる〝氷の城〟にぴったりと一躍注目され、前年の10倍に迫る勢いで観光客が訪れている。「アナ雪」の第2段に期待したい。

5・「北の恵み・食べマルシェ」：5回目を数え、108万5千人の来場者数を記録。道北最大の食のイベントに成長。「旭川しょうゆ焼きそば」なども新たなグルメも生み出す。広域観光の資源として磨きをかけている。

6・「北彩都ガーデン」：旭川の新駅舎南側に全国的にも珍しい広大なガーデンが町の中心部に出現し、観光客をお出迎えします。グランドオープンは2015年春です。

7・第56回を数える冬まつりは、今回はギネス級の大きさを誇る大雪像が「ウルトラマン」です。長さ100メートルの氷すべり台や巨大迷路、夜には花火、買物公園を会場に氷の造形美の「氷彫刻世界大会」も同時開催。

▲カバの旭子。旭山動物園で人気のカバ館に百吉のお嫁さん候補としてメキシコからきました。将来、赤ちゃんが楽しみです。



▲雪の美術館。話題のディズニー映画「アナと雪の女王」のような、雪の世界を彷彿とさせる美術館として大評判に。お客さんも増えました。

▲「あさっぴー」の幼なじみの「ゆっきりん」です。雪とキリンが融合した名前です。よろしくね。

8・シンボルキャラクター「あさっぴー」の幼なじみとして新キャラクター「ゆっきりん」も誕生。頭に雪だるまなど旭川要素のてんこ盛り。「あさっぴー」と合わせて旭川の魅力をPRして参ります。

Ⅱ・企業誘致について

：企業誘致を推進していくうえでの課題意識は、人口減少をいかに食い止めるか、いかに雇用の場を作っていくかという、2点があげられます。これらの課題に対応するために、企業誘致の活動を通じ、旭川への企業立地を推進し、雇用の場や税収の確保に力を入れて取り組んでいるところであります。

【旭川市の優位性のポイント】

1・旭川市は単独で人口35万人、周辺を含めると、45万人の規模があり、北海道・東北で第三の都市である。したがって、従業員の確保や、福利厚生の、生活の利便性の面で不自由がないことがあげられる。

2・交通のアクセスの良さ：東京からは福岡と同距離。鉄道、航空、自動車と、北海道内交通の要衝であり、物流やビジネスの面で利便性が高いことをアピールしている。

3・大地震の発生確率が0・2％と全国的に最も小さい：安心感を与えられる。大都市圏では大阪62・8％、名古屋46・4％、東京23・2％。

4・積雪寒冷地もPR：寒さや雪を活用するプロジェクトも多数あり。

【旭川への進出企業】

1・㈱ヤマザキ：静岡県吉田町の惣菜メーカー。セブンイレブンとイトーヨーカドーグループに7プレミアムシリーズの惣菜を提供。地元雇用におおいに貢献。

2・日信工業㈱：長野県が本社のブレーキシステムの総合メーカー。冬期間のテストコースを建設。

3・ダイキン工業：世界的な空調機メーカー。海外の寒冷地仕様の開発に最適の環境として旭川ラボを開設。

4・テレビラジオのCMに積極的な自動車保険のアクサダイレクトが、顧客対応のコールセンターを開設。

5・情報システム開発では、名古屋のデジタライズなど。

【立地の決め手】「地震・台風の発生率の低さ」「本社との交通アクセス」「熱心な立地支援」が各社の声。

【旭川地域企業誘致東京サテライトオフィスの開設】2014年4月23日、鷹栖、東神楽、東川の3町との共同事務所という位置付けで、東京サテライトを開設。職員3人が常勤しています。お気軽にお立ち寄りください。

▲2014年4月23日の開所式でご挨拶される旭川市・西川将人市長。後列左より、鷹栖町長・谷寿男氏、東神楽町長・山本進氏、東川町長・松岡市郎氏。108名が出席されました。

旭川市の関連情報満載！

新宿の旭川市アンテナショップでキャンペーン実施

1月25日、昨年9月にオープンした旭川市のアンテナショップ（左記）で「旭川氷点下41℃の日」記念イベントと銘打って、旭川銘菓『-41°』（高橋製菓）の試食販売、旭川関連グッズの「お楽しみ福袋」（1000円）の販売及びソチ五輪銀メダリスト・竹内智香選手へ「FISスノーボードW杯旭川大会」の応援メッセージ募集などのキャンペーンを実施しました。

この企画は、新観光大使となった朝妻久実アナウンサーが、アンテナショップを盛り上げるために企画し、当日は自ら「あさっぴー」のかぶりものと「旭川食べマルシェ」の半纏でお客さんにアピール。福袋は30分で20個が完売。そのほかの商品もよく売れました。一般のお客さんに旭川を知っていただくよいきっかけができました。

東京旭川会では、高橋会長をはじめ幹事の皆さんや会員も応援に駆け付け、盛り上げをバックアップすると同時に、懐かしい旭川製品をたくさん買い求めておりました。

ローソン本部の方は、「旭川の団結力」に驚かれていました。旭川出身の方はぜひ一度行ってみてください。

▲−41℃の日とは？1902年（明治35年）1月25日、旭川市で国内観測史上最低気温との−41℃を記録した日。（写真）東京旭川会の幹事・会員が応援に駆け付け記念撮影。

▲旭川市ローソンアンテナショップ（ローソン新宿イーストサイドスクエア店）の旭川市関係のスペースはワイド。常時、旭川産の菓子、ラーメン、お土産グッズなどがぎっしり。

▲竹内智香選手への応援メッセージコーナー。なお、お店は東京メトロ副都心線、都営大江戸線の東新宿駅A3出口直結でとても便利です。

W杯旭川大会の体験は「大きな一歩」につながる

竹内智香選手の助言がきっかけで実現した「FISスノーボードワールドカップ旭川大会」大会は、サンタプレゼントパークで2月28日～3月1日の両日開催され、連日約750人が訪れ、成功裏に終了しました。

東京旭川会を代表して、西谷内事務局長に応援に駆け付けてもらいました。西川市長、山下会長及び竹内智香選手からも大いに感謝され、竹内選手には、東京旭川会の寄せ書き「応援旗」ほかを手渡すことができました。

竹内選手自身は、惜しくもメダルは逃しましたが、「私は14年前のW杯旭川大会を経験しました。男女18名の日本選手が今回の地元開催でW杯のスタート台に立ちました。若い人はまだ世界は遠いかもしれませんが、何年後かに表彰台に立った時、旭川でやった意味がある」と分かってもらえるはずと語った。

▲『私、勝ちに行きます』は、ソチ五輪銀メダル獲得後に書いた本。その意欲でガンバレ！

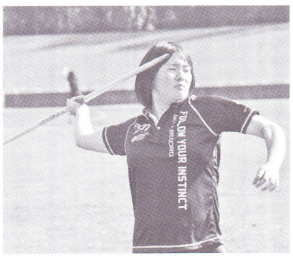
▲パーティ前に、竹内選手に東京旭川会として持参した高橋会長のご挨拶文、寄せ書きの「応援旗」、会報、手紙などを手渡し、記念写真撮影のご協力をいただきました。

▲女子パラレル大回転では惜しくも5位入賞。苦手のパラレル回転でも8位入賞。「2018年韓国の平昌（ピョンチャン）五輪では両種目でメダルを獲りたいと」と抱負を語った。

旭川市の「若い力」

全国3冠。次は世界へ！ 旭川東高2年生　北口榛花さん

やり投げを始めてわずか2か月の高校1年の時、北海道大会で優勝。昨年8月の全国高校総体、10月の日本ユースと長崎国体でも優勝し、全国3冠。国体では自身の道高校記録を塗り替える53m15を記録し、飛び跳ねた。



▲「オリンピックに出場して活躍するために、62m83の日本記録を目指す」と16歳の夢は大きく羽ばたく。「未完の大器」ガンバレ！

FISウィスラーカップU14大回転で世界一 旭川教育大学附属旭川中学校2年生　高羽素直さん

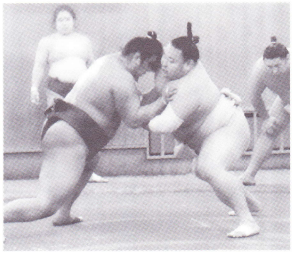
27か国が参加したカナダで開催の世界最高峰のチルドレンクラスの大会、ウィスラーカップでは、これまでもチームの先輩たちが優勝してきた舞台だけに、「同じ表彰台に立てたことが何よりも嬉しい」と満面の笑み。（写真提供・眞木健）

▲5人兄姉の末っ子。姉や兄の影響で、物心ついた時にはスキーを履いていたという。旭川ジュニアアルペンチームで小学1年から競技開始。

大相撲の「若い力」

旭大星　さあ出直しだ!!

13年ぶりの北海道出身の関取誕生と大いに期待された旭大星だが、新十両の秋場所、九州場所で惜しくも負け越し。初場所は、意地の勝ち越し。出直しの年。旭川市民と東京旭川会は応援しています。頑張ってください。



▲初場所朝稽古の模様。旭天鵬関が見守る中、旭日松関との激しい稽古。今は稽古でもう一度力をつけ直して、関取の白いまわしを付けて欲しい。

八角部屋の若い二人

旭川出身の現役力士は三人だけです。若く、これからの地元出身力士が頑張って徐々に上に上がっていく姿を応援するのは、大相撲を見るもうひとつの楽しみです。旭川観光大使であり、NHK大相撲解説者の北の富士さんは、やはり地元の若い人には頑張ってほしいと期待を寄せています。

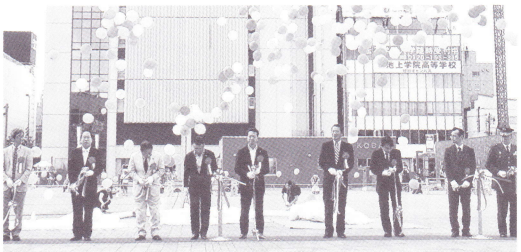
▲左は三段目の掛橋、右は序二段の中野（高橋会長と）。初場所は二人とも勝ち越し。八角部屋の旭川出身力士ですので、北の富士さんの孫弟子に当たります。

第27回 郷土訪問の旅

～北彩都あさひかわ完成記念式典に合わせて行ってきました～

昨年7月4日、5日に14名の参加者で実施しました。4日朝、旭川市役所にて市職員の方と合流後、ソチオリンピック銀メダリストの竹内智香選手のご両親が経営の湧駒荘を訪問し、早めの昼食。旭岳ロープウェイを経て姿見の池にむけ散策。下山後、湧駒荘に戻り露天風呂で散策の汗を流しました。市内へ戻る途中、八木祐四郎記念碑、北彩都ガーデンを見学。夜には恒例の旭川関係者との「交流懇親会」。石山旭川啄木会会長、菅原旭川空港社長、中屋荒井建設副社長にご挨拶いただき、旭川の食材に舌鼓を打ちつつ旧交を温めました。翌5日は旭川観光コンベンション協会の皆さんとパークゴルフ大会で交流。その後「北彩都あさひかわ完成記念式典」に参列しました。今回も会長以下幹部が地元の企業を訪問し、御礼や今後の協力をお願いしました。お世話になりました旭川の皆さまに厚く御礼申し上げます。

▲竹内選手のご両親が経営されている旭岳温泉『湯元　湧駒荘』。大雪山の麓、大自然の中に位置し5つの源泉と11の浴槽からなる日本秘湯を守る会会員の宿です。



▲北彩都あさひかわ完成記念式典は好天のもと大勢の市民の方が参加して実施されました。飲食などのテントが並び、市民音楽会や花火大会も行われ大変にぎやかな式典でした。また駅南側に整備が進むあさひかわ北彩都ガーデンもライトアップされていました。

▲前年に引き続いてパークゴルフで旭川観光コンベンション協会副会長他皆さまと和気藹々と有意義な交流を図りました。

▲宮前公園に設立の八木祐四郎記念碑では碑に刻まれた東京旭川会の名前を確認しました。

▲「湧駒荘」ロビーに展示されている竹内智香選手の競技用具。竹内選手の"原点"がここにありました。

東京旭川会の活動を報告します

昨年も各部会が中心となって活動しました。親睦部会では5月に「散歩を楽しむ会」を実施、ゴルフ会は5月と11月に、また8月には「旭川デイ」に合わせて納涼会を。9月には丸の内での「旭川ご当地グルメ」に参加して懇親を深めました。郷土部会では7月に「郷土訪問の旅」を実施。また加入している北海道ふるさと会連合会主催の親睦旅行会、日本ハムを応援する会などに参加しました。総務部会では、10月の総会時の懇親会で、「お楽しみ抽選会」を実施しました。広報部会では「ななかまど」の発行を通じてホームページと共に広報活動を行いました。

散歩を楽しむ会

都内の旧跡を郷土史家の渡辺功一さんの説明を受けながら歩く「歴史散歩を楽しむ会」です。1万歩くらいの軽い散歩の後のビールがうまい。

▲「築地明石町コース」。5月31日(土)好天に恵まれ、築地本願寺を見学後、浅野内匠頭邸跡で詳しく説明を受けるメンバー。「エッ、こんなところに」というくらい思わぬ発見が楽しみ。

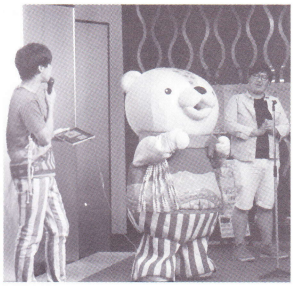
春秋ゴルフ親睦会

昨年5月8日、11月7日に両日とも武蔵OMGゴルフクラブにて、ゴルフ好きの会員の皆さんが集まり親睦を深めました。

▲春、秋それぞれ7組25名、6組20名の参加を得て開催。秋開催の第四回ゴルフ親睦会では快晴のもと楽しい一日を過ごしました。今年度も春と秋の開催を予定していますので、お誘い合せの上多数の方のご参加をお待ちしています。

幹事・会員交流懇親会

昨年夏、新橋演舞場に7月、8月の期間限定で『北海道まるごとビアテラス』がオープン。8月16日・17日は「旭川デイ」と銘打ち「あさっぴー」が来場。これにあわせ懇親会を開催し40名の仲間が集まりました。予定を延長するほど盛り上がり、大変楽しい会になりました。



▲あさっぴーが大活躍。旭川出身の松竹芸人"ベイビーフロート"にしやん(写真右)も盛り上げてくれました。

旭川ご当地グルメ

「旭川ご当地グルメイベントIN丸の内ハウス」が、昨年9月23日～10月5日に新丸ビル7階の「ムスムス」で開催されました。高橋会長をはじめ役員、会員の皆さん21名が出席。「あさっぴー」も登場し、男山の鏡開きで乾杯！旭川の農畜産品を素材とする特別メニューも好評でした。

▲旭川B級グルメの「旭川しょうゆ焼きそば」、「あったか旭川まん」、米粉パウンドケーキも大人気。

東京旭川会のホームページをご覧ください

東京旭川会では、インターネットのホームページ（HP）を開設しています。HPは、パソコン以外に携帯電話やスマホでも閲覧することができます。「東京旭川会」と検索して、東京旭川会―県民.comを選ぶと見られます。また、右のQRコードを活用すると、より簡単にアクセスできます。会報『ななかまど』とは別に、HPでは、会の案内やお知らせ、活動報告、写真、トピックス、皆様の投稿等をタイムリーに載せています。HPを通じて広く情報発信しています。

第38回 東京旭川会総会・懇親会 出席者一覧（順不同）

東京旭川会の役員構成

■会長　高橋 照美
■副会長　加藤 桂子
　横田 茂
■副会長・事務局長　西谷内 力世
■副事務局長　海老澤 美智子
　小松 仁志
　並河 典子
　三井 尚美
　山原 正博
■事務局　佐藤 幸博
　杉本 一美
　新田 大輔
　東出 康宏
　山川 智
■会計　野作 雅章
■幹事　荒川 繁
　伊塚 清
　大場 孝仁
　奥山 好美
　木島 英人
　澤田 研二
　高木 宏明
　高島 芳美
　宮川 秀史
　山口 哲男
　山崎 正之
■監事　安井 規雄
　米陀 徳光
■名誉顧問　原 公朗
■相談役　朝比奈 康博

【出席者】❖は旭川観光大使の方です。（敬称略）

あ
朝倉 隆司
浅田 弘司
浅沼 雄太
朝比奈 康博❖
朝妻 久実❖
朝妻 由美
石神 絢夫
石井 拓磨
板岡 功雄
市川 洋子
猪瀬 英雄❖
今津 寛史
岩田 公雄❖
岩渕 勝美
上田 皓一
浦木 勲
海老澤 美智子
遠藤 哲
大西 幸男
大場 孝仁
大屋 道夫
岡崎 友典❖
岡村 淳子
奥山 好美
小田 武
片桐 紀恵
片脇 義正
加藤 英二
加藤 桂子
加藤 文哉
金子 登
川西 勲
河原 惟臣
木嵜 秀夫
木島 英人
窪田 敬昭
熊野 勝文
木幡 功
小林 信雄
小林 良正
小松 仁志
今野 勝信
近野 光佑
齋藤 弘明
酒井 典子
櫻井 悠
佐藤 聡裕
佐藤 健司
佐藤 安弘❖
佐藤 幸博
澤田 研二
島田 嘉明
清水 弘美
白倉 伸也
杉本 一美
杉本 隆利
鈴木 聖史
鈴木 啓正
瀬川 信幸
高木 宏明
高島 芳美
高橋 照美
高橋 文子
滝沢 章子
田隅 美香
田中 誠治
田中 ひとみ
丹保 冬司夫
玉田 哲郎
寺島 喜久男
土肥 弘通
冨田 康文
内藤 ひろみ
中川 哲雄
仲川 有
中野 年
中村 園子
那須 利雄
並河 典子
西川 肇史
西谷内 力世❖
新田 大輔
野作 雅章
長谷川 明子
畠山 博文
浜崎 泰子
早坂 克孝
林 秀一
原 公朗
東出 康宏
樋口 嚴
日高 里枝
平本 信夫
廣野 貴之
福田 淳一
船山 喜美子
堀田 康雄
松田 広昭
松田 勇三
水沼 文平
三田 修一
三井 尚美
三井 靖広
宮川 秀史
宮澤 篤司❖
村井 馨
村上 和雄
村上 正秀
森内 満
門馬 千恵
安井 正
安井 規雄
安廣 一哉❖
柳本 正
藪谷 春菜
山川 智
山川 雅仁
山口 哲男
山崎 浩之
山崎 正之
山崎 摩耶
山田 光二
山原 正博
横田 茂
横田 雅史
吉田 義勝❖
米陀 徳光
和田 昇
渡辺恵士朗
渡辺 韶子

【ご来賓】
◆旭川副市長……岡田 政勝様
◆旭川市議会議長……三井 幸雄様
◆旭川商工会議所会頭……新谷 龍一郎様
◆旭川市総合政策部長……赤岡 昌弘様
◆旭川市経済観光部長……佐々木 恵一様
◆旭川商工会議所企画総務部長……川口 勤様
◆旭川市議会事務局総務調査課長……樽井 里美様
◆旭川市総合政策部秘書課……須賀 瑛子様
◆北海道ふるさと会連合会会長……森 隆信様
◆北海道東京事務所長……浦本 元人様
◆㈱北海道新聞社東京支社編集局長……加藤 利器様
◆北洋銀行執行役員東京支店長……藤池 英樹様
◆サッポロビール㈱首都圏本部……手島 孝雄様
◆法人営業部専任部長
◆㈱ＡＩＲＤＯ東京支店……八木澤 和夫様
◆脚本家・旭川観光大使……山本 むつみ様
◆旭川観光大使（初参加）……浦城 幾世様

【ご協賛・ご協力御礼】（順不同）
旭川市
旭川市議会
旭川商工会議所
一般社団法人旭川観光コンベンション協会
旭川空港ビル㈱
株式会社ＡＩＲＤＯ
ハイアットリージェンシー東京
㈱旭川振興公社
㈳旭川物産協会
㈱ササキ工芸
優佳良織工芸館
男山㈱
サッポロビール㈱
ニッカウヰスキー㈱
㈱明治
㈱一印旭川魚卸売市場
今野醸造㈱
佐賀孝郎商店
㈱東京キョクイチ
㈱福居製餡所
㈱藤井
藤原製麺㈱
㈱米谷産業
㈲エチュード洋菓子店
三葉製菓㈱
㈱スノークリスタル北海道
㈱煎菓亭鈴木製菓
高橋製菓㈱
㈱壺屋総本店
㈱ロバ菓子司

【ご寄付御礼】（敬称略）
朝比奈 康博
阿部 紀彰
岩田 公雄
岩垂 由紀子
海老澤 美智子
太田 征
大野 富美子
大場 孝仁
尾崎 千恵子
恩田 一
加藤 桂子
河原 惟臣
後藤 正弘
杉本 一美
杉本 隆利
高木 宏明
高橋 照美
高橋 文子
竹川 哲雄
竹沢 勝昭
中村 園子
西谷内 力世
野田 明
原 公朗
水留 英昭
三井 尚美
三井 靖広
安井 規雄
矢野 章子
山原 正博
横田 茂
米陀 徳光

＊【予告】本年度（平成27年）第39回の総会・懇親会は、10月24日（土）午後6時からです。それに先立ち懇談会は、午後4時から予定しています。

新規会員を募集中!!　お友達、お知り合いの方で「東京旭川会」に関心のある方がいらっしゃいましたら、事務局までご連絡ください。会報『ななかまど』と入会ご案内をお送りします。

編集後記

東京旭川会の活動の模様は、その都度ホームページに掲載され告知されていますが、会報「ななかまど」はそれらのニュースを取りまとめて掲載すると同時に、東京旭川会としての1年間の活動を公式記録として皆さんに示す重要な役割を持つものと思います。

会報の編集には広報部会の皆さんに協力をいただいていますが、今回は、記事を執筆された方に編集後記を書いていただくことにしました。（高橋）

＊＊＊

ほとんどの作業は経験豊かな編集長にお願いしました。有難うございました。『ななかまど』で会員の皆さんが旭川への愛着を一層深める一助になれば幸いに思います。（小松）

＊＊＊

編集にあたりほとんどお役に立てませんでしたが、一年間の活動を改めて振り返ることができました。本誌を通して旭川に関する様々なことに触れていただけたら幸いです。（東出）

＊＊＊

「マッサン」で話題のウィスキー造りは、まちづくりに似ています。愛される「まちづくり」で東京旭川会の皆様に支えていただき、市の職員の一人として、幹事として感謝しております。（新田）

＊＊＊

昨年の「懇談会」は脚本家・山本むつみさんの講演内容が素晴らしく、原稿も先生に手を入れていただき、ベストに再現できました。ありがとうございました。会報の中で一番美味しい「アンコ」の部分と言えるかもしれません。今年の懇談会も充実した内容にしたいものです。

私はこれで五冊目の編集となりましたが、今回から広報部会メンバーがチームとして編集に当たることになりました。お互いに協力し合い、来年はよりよいものを作りたいと思います。（朝比奈）